

Mizuho Daily Market Report

2024/10/9

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	147.58	148.20	+0.02	+4.63
EUR	1.0994	1.0980	+0.0004	▲0.0088
AUD	0.6736	0.6744	▲0.0013	▲0.0139
SGD	1.3024	1.3040	+0.0000	+0.0159
CNY	7.0515	7.0633	+0.0446	+0.0446
MYR	4.2834	4.2873	+0.0028	+0.1303
THB	33.50	33.49	+0.04	+0.91
IDR	15652	15645	▲35	+445
PHP	56.92	56.92	+0.11	+0.76
INR	83.96	83.96	▲0.01	+0.14
VND	24842	24841	▲11	+231

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.012%	▲1.4 bp	+28.0 bp
日本(10年)	0.927%	▲0.7 bp	+7.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.243%	▲1.3 bp	+20.7 bp
オーストラリア(5年)	3.817%	+10.7 bp	+16.9 bp
シンガポール(5年)	2.790%	+1.0 bp	+31.2 bp
中国(5年)	1.885%	+3.1 bp	+3.1 bp
マレーシア(5年)	3.549%	+0.3 bp	+4.6 bp
タイ(5年)	2.322%	+0.3 bp	+8.7 bp
インドネシア(5年)	6.529%	▲5.8 bp	+31.2 bp
フィリピン(5年)	5.659%	▲1.6 bp	+16.1 bp
インド(5年)	6.722%	▲3.5 bp	+5.5 bp
ベトナム(5年)	2.010%	+0.0 bp	▲2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,080.37	+0.3%	▲0.2%
N225(日本)	38,937.54	▲1.0%	+0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	4,949.00	▲0.4%	▲0.1%
ASX(オーストラリア)	4,477.15	▲1.3%	▲1.1%
FTSTI(シンガポール)	3,575.69	▲0.7%	▲0.1%
SSEC(中国)	3,489.78	+4.6%	+4.6%
SENSEX(インド)	81,634.81	+0.7%	▲3.1%
JKSE(インドネシア)	7,557.14	+0.7%	▲1.1%
KLSE(マレーシア)	1,635.62	+0.0%	▲1.3%
PSE(フィリピン)	7,537.25	▲0.2%	+2.1%
SETI(タイ)	1,452.80	+0.0%	▲0.8%
VNINDEX(ベトナム)	1,271.98	+0.2%	▲1.6%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	287.28	▲2.1%	+0.3%
金	2,621.83	▲0.8%	▲1.6%
原油(WTI)	73.57	▲4.6%	+5.4%
銅	9,594.57	▲1.9%	▲2.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.60	—	149.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6685	—	0.6960
USD/SGD	1.2860	—	1.3130
USD/CNY	7.0560	—	7.0790
USD/INR	4.1200	—	4.3230
USD/THB	31.90	—	34.05
USD/IDR	15500	—	15650
USD/PHP	55.30	—	57.70
USD/INR	83.30	—	84.30
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台前半でオープン。オープンレベルがアジア時間高値水準となり、その後は米長期金利の下落とともにドル円も軟調に推移し147円台後半まで下落した。売りが一巡後は、小幅に反発するも、その後は特段の材料もなく、方向感ない値動きに終始。結局、147円台後半で海外時間へ渡った。

アジア通貨は対ドルで軟調推移。中東情勢の緊迫化を受けたリスク回避的な動きが継続したことに加え、中国の国家発展改革委員会の記者会見で新規の大型投資や具体的な国債増発額などへの言及は見られず失望感から人民元が下落。これに連れてアジア通貨は対ドルで下落となった。

欧州時間、中国の景気刺激策に対する失望感からリスク回避的な動きが強まるとドル円は147円台前半まで再度下落したが、米株式先物が反発したことを受け147円台後半まで値を戻し米州時間へ。米州時間朝方に発表された米8月貿易収支が予想より良好だった事が好感され、米金利が上昇幅を拡大する動きに追随し、148円台前半まで上昇。その後は低調な米3年債の入札結果が下値を支え、終盤にかけては148円台前半から半ばにかけての水準で堅調に推移しクロスした。

【金利】

昨日の米債利回りは短期を中心に低下。米株が上昇する中、利回りは短期を中心に小幅低下となったが、米州時間午後に入り3年債入札の結果が低調となると金利は上昇に転じクロスした。

【予想】

本日のドル円相場は上値重い展開を予想。米利下げ織込みの後退にも一服感がある中、ドル円は148円台前半で上値の重さが意識される展開。本日海外時間にはFOMC議事要旨の発表を控えるが、明日には米CPIの発表も控えており、値幅は出にくいものと予想。

【本日の予定】

(日本) 9月 工作機械受注(速)
(アジア) 9月 中国 新規人民元建て融資 / 資金調達総額
(アジア) 9月 韓国 対家計銀行貸出合計
(アジア) NZ 金融政策会合
(アジア) インド 金融政策会合
(アジア) 休場 韓国
(欧州) 8月 独 貿易収支
(欧州) 独 国債入札(15Y)
(米国) 8月 卸売在庫(確) / 卸売売上高
(米国) FOMC議事録
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(10Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。